

2022年12月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社マーケットエンタープライズに「SDG s 推進シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社マーケットエンタープライズ（代表取締役社長：小林 泰士）に「SDG s 推進シンジケーション」を実施いたしました。

「SDG s 推進シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、株式会社マーケットエンタープライズについては、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 企業や自治体と連携したネット型リユース事業による資源循環の促進

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効率的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

② 中古農機具等の輸出を通じた途上国のインフラ整備、農業生産性向上への寄与

目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.a アフリカ諸国、後発開発途上国、内陸開発途上国及び小島嶼開発途上国への金融・テクノロジー・技術の支援強化を通じて、開発途上国における持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラ開発を促進する。
目標 2 飢餓をゼロに	2.3 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。

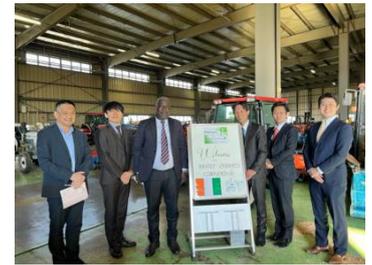
三井住友銀行では、「SDG s シンジケーション」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



楽器寄附ふるさと納税



自治体と提携し捨てない暮らしを推進する「おいくら」



駐日コートジボワール参事官

<ご参考>

※ SDG sとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上